

科目・コース（ユニット）名： 美術解剖学

英語名称： Artistic Anatomy

【担当責任者】 渡邊 晃一

【連絡先】 教育研修支援課 医学部教務係

教員 E-mail: koichiwfukushimau@gmail.com

【開講年次】 1 年, 【学期】 後期 【必修／選択】 選択必修,

【授業形態】 講義／実習

【概要】 主に人体を中心とした生命形態学、美術解剖学の知識を美術に応用した学問体系である。本講義では、美学（感性学）、哲学、制作学、生命倫理、芸術療法などとも関連させながら、人間とは何か、「生きた人体」の形態を探求していきます。加えて、身体認識との関係から、医学によって提示されてきた解剖図譜や標本とも絡ませながら、絵画や彫刻、現代の映像メディア（漫画、アニメーション、写真、映画）などを最先端の STEAM 教育のトピックを織り交ぜて幅広く提示します。

【学習目標】

- 1) 美術解剖学に知的関心をもって意欲的に取り組むことができる。
- 2) 様々な視点から「生きた身体」を捉えることができる。
- 3) 芸術文化を国際的な視点と地域文化を重ねて理解することができる。
- 4) 新しい「ものの見方」。価値観の多様性を理解できる。

【教科書】

- ・ 渡邊晃一「モナリザの教科書」日本文教出版、2020

【参考書】

- ・ ウィンスロウ著「アーティストのための美術解剖学」マール社、2013年
- ・ 谷川渥監修、小澤基弘、渡邊晃一編著「絵画の教科書」日本文教出版、2001 年
- ・ 中尾喜保「生体の観察」メヂカルフレンド社、1976 年
- ・ 養老孟司、布施英利「解剖の時間」哲学書房、1987 年
- ・ 三木成夫「生命形態学序説」うぶすな書院、1989 年
- ・ その他は授業内で紹介する

【成績評価方法】

試験は実施しない。

具体的には、成績評価基準から以下 3 点の総合点から算出する。

1. 出席状況（欠席、遅刻はしないこと）、毎回の授業への参加態度
 - ・ 参加態度、成果点：3 点満点×15回
2. 授業内課題レポートの成果
 - ・ 授業内外の課題レポートによる成果点：10点満点× 4 回
3. 美術解剖学ノート（課題）からの累積評価
 - ・ 美術解剖学ノート：15 点

※ 出席については規定に基づき、原則として 2 / 3 以上の出席を要する。

【学習上の注意事項】

美術を通して「身体」の見方、描き方について幅広く学びます。

前半は理論研究とともに映像作品を鑑賞します。

後半は人体モデルからの実習を行います。

【授業スケジュール】

回数	年/月/日	曜日	時限	内 容	担当教員名	備考
1	2026/10/07	水	3	(講) 美術解剖学とは何か [美術と自然]	渡邊晃一	
2	2027/2/12	金	2	(講) STEAM 美術×科学 [感性と知性]	渡邊晃一	
3	2027/2/12	金	3	(講) 生命形態 [ヒトと動物]	渡邊晃一	
4	2027/2/12	金	4	(講) ホスピタル・アート [芸術と医療]	渡邊晃一	
5	2027/2/12	金	5	(講) 頭部 [肖像画と似顔絵]	渡邊晃一	
6	2027/2/19	金	2	(講) 顔と表情 [日本と西洋]	渡邊晃一	
7	2027/2/19	金	3	(講) 脳/知覚 [絵画と写真]	渡邊晃一	
8	2027/2/19	金	4	(講・実) 人体モデル実習(1) プロポーション	渡邊晃一	
9	2027/2/19	金	5	(講・実) 人体モデル実習(2) 体幹 [♂と♀]	渡邊晃一	
10	2027/2/19	金	6	(講・実) 人体モデル実習(3) 上肢	渡邊晃一	
11	2027/2/22	月	2	(講・実) 人体モデル実習(4) 下肢	渡邊晃一	
12	2027/2/22	月	3	(実) 人体モデル実習(5) [Life drawing ①]	渡邊晃一	
13	2027/2/22	月	4	(実) 人体モデル実習(6) [Life drawing ②]	渡邊晃一	
14	2027/2/22	月	5	(実) 人体モデル実習(7) [Life drawing ③]	渡邊晃一	
15	2027/2/22	月	6	(実) まとめ	渡邊晃一	

【担当教員】

教員氏名	職	所属	連絡先
渡邊晃一	教授	福島大学	koichiwfukushimau@gmail.com